

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

学校名	武雄市立山内中学校
-----	-----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・昨年度は、教科全般にてICT機器（電子黒板やタブレット等）を活用して分かりやすい授業展開を図ったり、「読み取りタイム」や「ライティングタイム」を利用して読む力や書く力の育成に取り組んだりして、生徒一人一人の学力向上を目指した実践を行ってきた。その結果、学校評価の生徒の評価項目の「ICT機器を活用した授業が自分の力につながっていると思いますか」については、全校生徒の約9割の生徒が肯定的な回答で答えている。しかし、家庭学習においての基礎的・基本的な学力の定着が不足しており今年度の課題である。 ・生徒の困り感や悩みは多岐にわたっており、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導を推進し、いじめ防止・早期発見・早期対応、教育相談や特別支援教育の充実に組織的に取り組む必要がある。
------------------	---

2 学校教育目標	「夢と誇りをもち、自ら学び、仲間とともにしなやかに伸びる生徒の育成」 目指す生徒像 ①「心豊かで、社会性のある生徒」 ②「自ら学び、共に高め合う生徒」 ③「心身ともに明るく健康な生徒」
----------	---

3 本年度の重点目標	生徒の教育活動全般を通した立腰教育の充実および生徒会活動「AJISAI運動」の活性化
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○(学校独自重点取組) 学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「授業が分かりやすい」と肯定的に回答する生徒の割合80%以上、「わかりやすい授業展開に努めている」と肯定的に回答する保護者の割合80%以上 ○「家庭学習への取り組み方がよくなった」と肯定的に回答する生徒の割合80%以上、保護者80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を意識した授業実践及び電子黒板やタブレット等の利活用推進 ・家庭学習の習慣づけ及び内容充実を目的とした週4回の全校一斉「学習タイム」の設定と実践 ・PDCAサイクルを取り入れた校内研究と学力向上対策委員会の2本柱での学力向上対策の充実		・		・		・		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手の気持ちを考えた行動や発言ができている」と肯定的に回答する生徒の割合80%以上、保護者80%以上	・日頃の教育活動全般を通じて、生徒の自己肯定感を高めるような声かけを行うと共に特別活動等を通じて互いに認め合う取り組みの実践 ・「AJISAI運動」の推進 ・「すてきボード」など生徒をほめる場の設定 ・「特別の教科道徳」の指導方法工夫改善 ・生徒会を中心とした人権集会の実施		・		・		・		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「安心して生活できる学校」だと肯定的に回答する生徒・保護者の割合90%以上 ○「いじめのない学校だと思う」と肯定的に回答する生徒の割合80%以上、「子どもがいじめや差別をしないことを意識して生活を送っている」と肯定的に回答する保護者80%以上	・学校生活アンケートの毎月実施及び年2回のいじめ調査の実施 ・年2回の教育相談週間及びQ-Uテストの実施 ・生徒指導部会、教育相談部会、特別支援教育部会の定例開催による情報共有及び取り組みの改善・充実 ・つぶやきノート(日記形式)の実践 ・いじめの定義等に関する研修会の実践 ・ネットいじめ防止に関する研修会(講演会)を1回以上実施		・		・		・		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○県教育の含言葉「ほめるからはじめる、はじまる」を意識して教育活動を行っている」と回答する職員の割合100% ○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ◎○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・県教育の含言葉「ほめるからはじめる、はじまる」の職員への周知徹底及び実践 ・すてきボードや授業の中での「本日の素敵さん」など、ほめる場の設定と賞賛の声かけの工夫 ・キャリアパスポートの活用 ・職場体験学習や職場見学、地域人材を活用した講演会、ものづくり体験教室などの実施		・		・		・		
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」 ⑤「健康を考えて行動できる能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上 ○「健康に食事は大切である」と肯定的に回答する生徒の割合90%以上 ○児童生徒の交通事故発生0(ゼロ) ○年1回以上の関係機関と連携した防災学習の実施	・給食だよりの定期発行と内容の充実 ・給食委員会(給食試食会)の実施による保護者への啓発及びPTAと連携した食育の推進 ・衛生面に配慮した給食とマナー指導の徹底 ・毎月1日の交通安全立哨指導の実施 ・警察署や消防署および武雄市役所と連携し、交通安全教室の各種の講話を実施 ・「ひまわり講座(スマホ・ケータイ安全教室)」の開催		・		・		・		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	○教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限の遵守	・ICTの積極的利活用による事務の効率化推進 ・タイムカードによる時間外勤務時間の可視化と結果に基づく面談の実施 ・時間外勤務が多い教職員に対しての積極的な声掛け ・運営委員会を利用した学校行事等の見直しの実施		・		・		・		
	○(学校独自重点取組・任意) 「働き方改革」意識向上と実践	○部活動休業日、定時退勤日(週1)、年休取得推進日の設定・徹底	・定時退勤日の設定 ・部活動活動方針の見直し(活動時間及び長期休業期間中の活動自粛期間設定) ・勤務間休憩11時間の「勤務間インターバル」の導入 ・長期休業期間を中心に年休取得推進日の設定		・		・		・		
●特別支援教育の充実	○(学校独自重点取組・任意) 「特別支援教育」の充実に向けた取組の実践	○個別の教育支援計画、教育計画を活かし、一人ひとりに適切な支援の実施	・特別支援教育部会の定例開催による情報共有(個別のケース会議も含む)及び取り組みの改善・充実 ・個別の支援計画及び指導計画の作成と特別支援教育の研修実施 ・SC及びSSWやSSF及び教育関係機関との連携		・		・		・		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○立腰教育の充実	○立腰教育の充実 ○無言掃除	○「立腰の声がかかる場面では、正しく立腰している」と肯定的に回答する生徒の割合80%以上 ○気持ちのよいあいさつができていると肯定的に回答する生徒の割合80%以上、保護者80%以上 ●無言掃除が心の成長につながっていると回答する生徒の割合が80%以上	・「みんなで立腰」の実施(朝、授業・掃除・帰りの会・集会前) ・立腰集会の実施 ・あいさつ、返事、後始末の徹底 ・無言掃除への意識向上のための掃除集会や職員研修の実施		・		・		・		
○生徒会活動の活性化	○生徒会の活性化及び生徒の出番・役割の創出と承認	○AJISAI運動「気持ちのよいあいさつ」や「学校や学級、友達のために役に立っている」と肯定的に回答する生徒の割合を80%以上	・AJISAI運動を意識した各校務分掌からの積極的アプローチ ・生徒会本部及び各部の活動の活性化 ・自己有用感や自己肯定感を高めることを目的に生徒の出番や役割の創出		・		・		・		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------